

## 福岡県公安委員会活動状況

### <定例会の主な議題及び要旨>

令和4年12月1日（木）

#### 【協議事項】

##### 1 道仁会に対する指定暴力団の第11回指定について

（暴力団対策部）

警察本部から「久留米市に主たる事務所を有する道仁会について、暴力団対策法第3条各号の指定要件をいずれも満たしていることから、同法に基づき、指定暴力団として11回目の指定を行いたい。本指定について御審議をお願いする。」旨の説明があった。

公安委員から「主たる事務所の所有者が会社名義となっているのはなぜか。」旨の発言があり、警察本部から「道仁会幹部が取締役を務める会社が所有しているためである。」旨の説明があった。

公安委員から「指定暴力団としての指定は、暴力団構成員数の減少につながっているのか。」旨の発言があり、警察本部から「指定暴力団には、暴対法に基づく取締りや行政命令が可能となることから、指定暴力団としての指定は、暴力団構成員数の減少につながっている。」旨の説明があった。

公安委員から「暴力団構成員についても、高齢化が進んでいるのか。また、高齢化により、暴力団が解散する可能性もあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「暴力団構成員の高齢化は進んでいるが、準暴力団等を利用した資金獲得活動なども行っており、引き続き、暴力団の壊滅に向けた取組を強力に推進していく必要がある。」旨の説明があった。

公安委員から「暴力団は、その活動等を正当化するために、任侠道を標榜しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「委員御指摘のとおりであり、暴力団は任侠道を標榜しているものの、実際にはその威力を示すなどして暴力的不法行為等に及んでいる。」旨の説明後、本件は了承された。

#### 【報告事項】

##### 1 福岡県職員の定年等に関する条例等の一部改正等（案）について

（警務部）

警察本部から「地方公務員法の一部を改正する法律の制定等を踏まえ、本県職員の定年引上げに係る関係条例の改正を行う。改正の内容は、定年の引上げ、管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）の導入等である。」旨の報告があった。

公安委員から「管理監督職勤務上限年齢制について、警視であれば60歳以後は警部に降任するのか。」旨の発言があり、警察本部から「管理監督職とは、警察官は警部以上、警察行政職員は警視相当職が該当し、警部以上の警察官は60歳以後、警部補に降任することとしている。」旨の説明があった。

##### 2 戸畑警察署と九州工業大学との安全・安心協定締結式の実施について

（生活安全部）

警察本部から「12月2日、警察署と大学とが相互に協力・連携することにより、戸畑地区における地域社会の発展を図り、「安全・安心のまち戸畑」を実現することを目的として、戸畑警察署と九州工業大学との安全・安心協定締結式を実施する。」旨の報告があった。

公安委員から「ほかにも警察署と大学とが協定を締結している事例はあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「安全・安心に関する協定の締結は、県内で初めてである。」

旨の説明があった。

公安委員から「どのような経緯で、協定を締結することになったのか。」旨の発言があり、警察本部から「戸畑区では九州工業大学の学生が多く生活しており、学生の犯罪被害の防止や学生ボランティアの活性化、あるいは大学が保有する知見をいかした安全・安心への取組等について警察署と大学とが相互に協力・連携していくため、戸畑警察署から本協定の締結を働き掛けたものである。」旨の説明があった。

公安委員から「北九州市民として、今後、効果的な取組がなされていくことを期待している。」旨の発言があった。

警察本部から「県警察では県内の大学とテーマごとに協定を締結しており、九州工業大学とは、既にサイバーセキュリティに関する協定を締結している。」旨の説明があった。

### 3 現住建造物等放火未遂等事件被疑者の逮捕について

(暴力団対策部)

警察本部から「粕屋警察署ほか2警察署及び暴力団犯罪捜査課は、8月31日、古賀市所在の家屋玄関前において、同所に駐車された普通乗用自動車に火を放ち、その火を燃え移らせて家屋を焼損しようとするとともに、火炎びんを所持した現住建造物等放火未遂等事件について、11月26日及び同月30日、六代目山口組傘下組織会長ほか3人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「本件は、山口組と神戸山口組の抗争に伴う事件と思われるが、県内の5つの指定暴力団が弱体化する一方で、それ以外の暴力団による勢力の拡大が懸念される。」旨の発言があり、警察本部から「抗争事件については、警戒を徹底し、未然防止に努めていく。また、暴力団の勢力は全国的に減少傾向であるが、引き続き、諸対策を強力に推進していく。」旨の説明があった。

### 4 福岡国際マラソン2022の概要について

(交通部)

警察本部から「昨年終了した「福岡国際マラソン選手権大会」の後を引き継ぐ大会として、12月4日、福岡市において、「福岡国際マラソン2022」が開催され、78人がエントリーしている。県警察では、交通対策を始め、白バイによる先導、航空隊による上空警戒など、所要の体制で警備に当たる。」旨の報告があった。

公安委員から「昨年までの大会からの変更点は何か。」旨の発言があり、警察本部から「主な変更点は、これまで後援であった県が主催している点であり、コース等には変更はない。」旨の説明があった。





